

XIX. アコーディオン

(表 19)

表 19A の記号

⋮⋮ アコーディオン楽譜の前置符

ボタンの列

- ⋮ 第 1 列—音符の下にダッシュ (コントラバスの音)
- ⋮ 第 2 列—印なし (バスの音)
- ⋮ 第 3 列—1 あるいは M (長三和音)
- ⋮ 第 4 列—2 あるいは m (短三和音)
- ⋮ 第 5 列—3 あるいは S か 7 (七の和音)
- ⋮ 第 6 列—4 あるいは d (減三和音)
- ⋮ 第 7 列— (多様な指示)
- ⋮⋮ 第 8 列— (多様な指示)
- ⋮⋮ ゼロ列— (多様な指示)

19-1

アコーディオンの記号は、左手パートに前置符 ⋮⋮ が使われている時のみ、用いられる。¹

¹ ロシアのアコーディオン bayan のための記号は違っている。

19-2

墨字では、バスの音 (第 1、2 列のボタン) は通常、譜表の下の部分に符尾を上に向けて書かれている。和音 (ボタンを使用しての) を表す音符は、譜表の上の部分に符尾を下に向けて書かれている。音列記号は不要なので、これらの記号は、ボタンの列に番号をつけるために使われる。

一つのボタン記号は、新しいボタン記号が出てくるまで、有効である。

19-3

ボタン記号は音符のすぐ前に書かれ、臨時記号以外、間に入れてはならない。ボタン記号は、シャープやフラットやナチュラルの前に記す。

例 1 9 - 3

表 1 9 A の更なる記号

⠠⠠⠠	引く (左を指している V)
⠠⠠⠠	押す (右を差している V)
⠠⠠	休止 (引きも押しもしない)
⠠⠠⠠⠠	バスのソロ (B.S.)
⠠⠠⠠	音栓
⠠⠠⠠⠠	音栓なしで (墨字の頭文字を使用)

1 9 - 4

アコーディオン・パートでは、略語はマス明けなしで、記される。墨字での頭文字が使われるべきであり、略語の後には 3 の点を記す。例えば：

S.R.(senza registro 音栓なしで) ⠠⠠⠠⠠

1 9 - 5

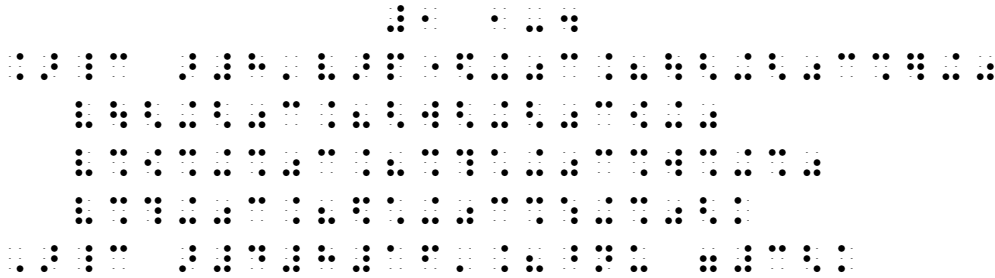
指使いは、次に示すバスのソロに記されている。

例 1 9 - 5

19-6

丸で囲まれた記号（表 19B を参照）による音栓の表記では、後に 3 の点を打ち、アコーディオン・パートにマス明けせずに記さなくてはならない。拍子記号の後に続く時のみ、音栓の記号の前にマス明けが必要である。

例 19-6



19-7

表 19B 以外の音栓の記号が出てきた場合には、説明する注意書きを付け加えなければならない。墨字の音栓の記号に番号が付いている場合には、点字でも墨字の順序に従わなくてはならない。

(例 19-6 のように) 丸で囲まれた音栓記号に 3 本の線がある時は、最も上にある点は “2ft” を意味している。 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

19-8

ピアノ・アコーディオンとボタン・アコーディオンの両方に指使いがある場合には、点字ではピアノ・アコーディオンの指使いを先に記さなくてはならない。点訳者の注意書きには、そのことを記すべきである。

19-9

等しい長さのバスの上に、同時に演奏される和音となる音がある場合には、これらの和音となる音は、ボタン記号の後に音程記号で記すことができる。

この場合、各ボタン記号は、一つの音程にのみ適用される。

例 19-9

19-10

音程は連続できるが、ボタンの列が変わる前には、連続を止めなくてはならない。

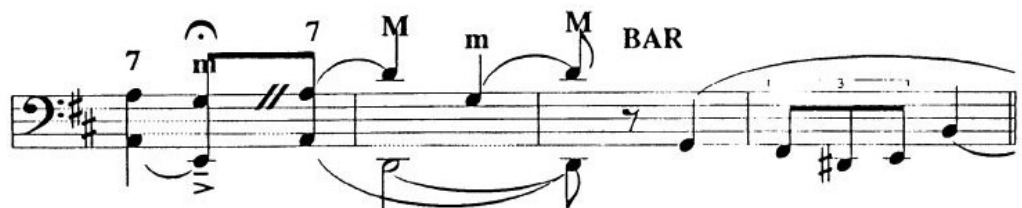
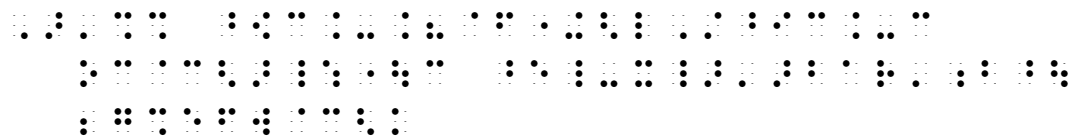
例 19-10

19-11

標準の和音アコーディオンの弾き方から旋律バスに変更する時は、左手記号 $:::$ を間に挟み、“BAR” という文字や他の墨字の指示を入れて、音列記号を使用する。

前置符 \therefore が再び表れた時は、ボタン記号を使用する和音アコーディオンに戻ることを意味している。

例 19-11



19-12

右手パートは、他の鍵盤楽器の楽譜のように記される。
引く記号と押す記号はこのパートに記され、その後に来る音には、音列記号は必要ない。

例 19-12

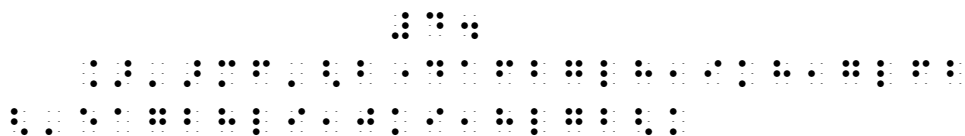





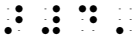




















表 1 9 B. 音栓記号

		8 ft.; 2本の横線の中に点が1つある円
		16 ft.; 2本線の下に点が1つある円
		4ft.; 2本線の上に点が1つある円
		4ft. 8ft. 16ft.; 2本線の上下、間に 点が1つある円
		8ft. 16ft.; 2本線の間と下に点がある円
		4ft. 8ft.; 2本線の上と間に点がある円
		4ft. 16ft.; 2本線の上下に点がある円
		トレモロ ; 2本線の中に並んだ2つの点
		ダブル・トレモロ ; 2本線の間 の3点
		“ハイ・トレモロ” ; 2本線の間 の右にある点、 あるいは中央の点の右にある点
		“ロー・トレモロ” ; 2本線の間 の左にある点、 あるいは中央の点の左にある点
		たくさんのトレモロを組み合わせた例